

発行所
石川県保険医協会
〒920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号
太陽生命金沢ビル8階
☎(076)222-5373番 FAX(076)231-5156番
URL <http://ishikawahokeni.jp/>
編集部E-mail ; iskw_sugino@doc-net.or.jp
発行人 西田直巳
印刷所 ソノタ印刷株式会社
購読料 1年間 5,000円(千共)
(*本紙の購読料は会費に含まれます)

石川保険医新聞

主な記事

- 2面 ゴルフコンペ
- 3面 サタデナイトセミナー
- 4面・5面 ザ・公衆衛生
- 5面 診察室から飛び出す歯科医①
- 6面 社会保障・税一体改革
- 7面 地域医療連携室訪問

今月の会員数 / 1,032人(内科730人・歯科302人)



講師の小山珠美氏

その講演は、「どのような障害があっても何とか口から食べさせてあげたい」の一念から、それを科学し、スキルを磨き、仲間を集め組織化し、近隣の医療機関を啓蒙し連携し、患者の尊敬と感謝を受けながら、さらに自問自答し成長を目指す飽くなき挑戦の軌跡であり、昨年お話しいただいた内容をさらに深掘りするものであった。貴重な経口摂取のノウハウが詰まった動画の数々は、最新刊の事例集

十月二十一日(日)、輪島市文化会館において、小山珠美氏(東名厚木病院看護師)による「経口摂取実現のための実践的スキル」と題する医師とコ・メディカルのための講演会が開催され、百三人の参加者があった。能登北部医師会との共催は三年目であり、過去二年の褥瘡・創傷に続き、今年はいよいよ摂食嚥下をテーマに取り上げた。

伊藤英章能登北部医師会副会長(輪島市・内科)のごあいさつに続き、昨年の金沢会場でも大変好評であった小山珠美氏に再度お運びいただいた。氏が責任者を務める同病院の摂食嚥下療法部の活動は、今年に入りNHKなどの放送で大きく取り上げられ、その認知度も高まっており、また、大手出版社から「摂食・嚥



103人が参加して開かれた医師とコ・メディカルのための講演会 in 能登(10月21日・輪島市文化会館)

医師とコ・メディカルのための講演会 in 能登

経口摂取実現のための

スキルを学ぶ

小山珠美氏による実践の集大成

理事 小川 滋彦(金沢市・内科)



共催の能登北部医師会を代表して開会あいさつに立つ伊藤英章同会副会長



司会を務めた小川滋彦理事

とリンクした内容になっていくそうだが、登場する患者のプライバシー保護のためビデオ撮影などはご遠慮を、ということでも、当日参加者だけが満喫できる、まさに「ライブ」であった。氏は、直接嚥下訓練を非常に重視しておられ、とくに今回の講演で初めて言及されたという「食事介助」の手法は、疾患の理解、患者の手技は、疾患の理解、患者の

第26回 ○○○○日さるの疑問の解決のために○○○○

なんでも学術! よろず勉強会

なんでも回答? よろず勉強会

～またまた「歯科」のテーマです～

今回も医科会員のための歯科講座です。テーマは「むし歯の治療」です。このシリーズで先回、「カリオロジー(う蝕の科学)」についての講演がありましたが、今回は「治療」についての内容です。医科の先生方の方のご参加をお待ちしています。



●医科会員のための歯科講座●

メインテーマ 痛くてイヤな?! むし歯の治療

講師 浜田歯科クリニック院長 **濱田 久先生**

とき **2012年11月29日(木)** 午後7時15分～午後8時45分

ところ **近江町交流プラザ 4階「研修室2」** *駐車場は近江町いちば館併設の駐車場へ(無料)

対象 **保険医協会会員**(参加は無料、定員は先着30人とさせていただきます)

申込み **11月22日まで** (講師の先生への質問がある場合は、11月15日まで)にFAXでお申し込みください。

主催 **石川県保険医協会 / 学術・保険部**

電話 : 076(222)5373 / FAX : 076(231)5156

断していた保険医休業保障制度が再開される運びとなった。二〇〇五年四月に第百六十二回通常国会で保険業法が改正され(二〇〇六年四月施行)、保険医休業保障制度は、その改正や新規募集停止に追い込まれた。以来五年間、保険業法の適応除外を求めて国会議員要請、署名活動、関係団体との連携などの運動に取り組み▼二〇一〇年十一月に「保険業法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律案」が、参議院本会議で全会一致で可決し成立した。それから約二年をかけて各保険医協会、保団連共済制度運営委員会、保団連代議員会・理事会などで議論を尽くした。また、保団連は金融庁との交渉を重ね、合意案に至った▼今年九月九日の保団連第四十五回臨時大会での承認を受けて、同日に「一般社団法人保険医休業保障共済会」が設立される。十二日に法務局に登録申請を行い、二十一日に登録手続きが完了した▼石川協会も共済部会を開き、制度全体や休保審査の流れなどを再確認し、休保共済会の代理店となる準備を進める。いよいよ来年三月から、新規募集が始まる。保険医休業保障制度加入により、会員医師・歯科医師は療養に専念しても、その間の医療従事者の確保や代診医の手配などによって診療活動を継続でき、地域医療を守ることができる。

医心凡語

中断していた保険医休業保障制度が再開される運びとなった▼二〇〇五年四月に第百六十二回通常国会で保険業法が改正され(二〇〇六年四月施行)、保険医休業保障制度は、その改正や新規募集停止に追い込まれた。以来五年間、保険業法の適応除外を求めて国会議員要請、署名活動、関係団体との連携などの運動に取り組み▼二〇一〇年十一月に「保険業法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律案」が、参議院本会議で全会一致で可決し成立した。それから約二年をかけて各保険医協会、保団連共済制度運営委員会、保団連代議員会・理事会などで議論を尽くした。また、保団連は金融庁との交渉を重ね、合意案に至った▼今年九月九日の保団連第四十五回臨時大会での承認を受けて、同日に「一般社団法人保険医休業保障共済会」が設立される。十二日に法務局に登録申請を行い、二十一日に登録手続きが完了した▼石川協会も共済部会を開き、制度全体や休保審査の流れなどを再確認し、休保共済会の代理店となる準備を進める。いよいよ来年三月から、新規募集が始まる。保険医休業保障制度加入により、会員医師・歯科医師は療養に専念しても、その間の医療従事者の確保や代診医の手配などによって診療活動を継続でき、地域医療を守ることができる。

ゴルフコンペ 2012

十月十四日(日)、石川県保険医協会ゴルフコンペが、白山カントリー倶楽部松風コースで開催されました。長かった夏の暑い日も終わり、日差しもさほど強くなく、秋風が少し吹く絶好のゴルフ日和となり、参加者十九人がゴルフを楽しみました。

保険医協会ゴルフコンペの特徴は、医師、歯科医師だけでなく、その家族や従業員の方にもご参加いただき、安い参加費で、参加者全員が豪華な景品をもらって喜んでいただけることです。

今大会の個人優勝は、大平三四郎先生(歯科)でグロス八十七、ネット七十一・四でした。準優勝は、向弘之先生(歯科)。女子の部は、昨年個人優勝の浅野敬子さん(城北病院看護師)でグロス百一、ネット七十七・〇でした。また、ベスグロは個人三位の向将裕先生(歯科)で、グロス七十六でした。

医科、歯科、コ・メディカルで争われる団体戦は、今年も歯科チームが平均七十三・八で優勝でした。

今年は参加賞として、平田米里副会長のご好意により、能登島でとれたお米二キロが全員に配られ、賞をもらえなかった人には、さらにおまけでお米がもらえるという大盤振る舞いの企画もあり、和気あいあい、なごやかな雰囲気でした。来年も、多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

女性の部 優勝

女性に優しいコンペ

浅野 敬子(金沢市看護師)

好天に恵まれ絶好のゴルフ日和の中、白山カントリー倶楽部松風コースで開催された保険医協会ゴルフコンペ



女性の部優勝の浅野敬子さん(金沢市・看護師)

に参加しました。今回は三回目の参加で、顔見知りの方も多く、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しくスタートしました。途中、「ワー」とか「あらー」とか言いながら、失敗も楽しみながら十八ホールを回ってききました。

ゴルフは、年齢や性別、体格や職業などに関係なく、どなたとも一緒にできる本当に楽しいスポーツだと思います。今後も生涯スポーツとして続けていきたいと思っております。

今回、女性の部で「一等賞」ということでコメントを書かせていただくことになりましたが、女性の参加は二人で、スコアもちょっと上回っただけです(汗)。それでも頑張ったご褒美として、それぞれに賞品を用意してくださっていただきました。スコアはともかく、女性にはとても優しいコンペでした。

また、平田先生のご厚意で、能登島産のお米が全員に配られ、家族へのうれし

男性の部 優勝

同伴メンバーのおかげ

大平三四郎(金沢市・歯科)

快晴微風、絶好のコン

デイションでコンペ当日を迎えましたが、会場の白山松風コースは、もともと相性のよくないコースで、まったく期待しないで参加しました。



総勢19人が参加して開かれた2012年ゴルフコンペ(10月14日・白山カントリー倶楽部)



男性の部優勝の大平三四郎文化部員(金沢市・歯科)

いつものようにスタート前の記念撮影に始まり、平田副会長のあいさつと続き、プレーに移りました。ご一緒したのは、橋本先生、能勢先生、河奥さんの御三方で、橋本先生は初めて回

る方で、あとのお二人は、以前回っていて知っていたので、リラククスしてスタートしました。

恒例のショートホール二百円チャリティー(グリーンに乗らないと二百円)は、最初から八百円入れました。どうせ乗らないと分かっていたので、何と

で・・・(笑)。同組の能勢、河奥両氏は飛ばし屋で、橋本先生はステディな技巧派。私ときたら出だしからチョロで始まり最初の二ホールだけまぐれでパーをとれましたが、あとはショート、ダボ、ロングはOBでトリと、いつものとおりバタバタでした。何とか九番のロング、まぐれのパーディーで、前半は四十三でした。五番ホールが終わったところで、橋本先生が急患で途中で帰りに引張っていたので、果だと思っております。

最後にになりましたが、チャリティーを兼ねた協会のゴルフコンペに参加してくださった皆様、ありがとうございました。来年もぜひ皆様の参加を願って、優勝並びにお礼の言葉とさせていただきます。

石川県保険医協会・第5回冬の文化企画

(株)久世酒造店(見学) & 料理旅館「勝崎館」(昼食)を訪ねて



- 見学
- とき
- ところ
- 定員
- 参加費
- 参加者
- 申込み

(株)久世酒造店さん

(河北郡津幡町清水1122 TEL076-289-2028)

2013年2月3日(日) 午前9時20分 / 金沢駅西口集合

・午前9時20分……金沢駅西口集合・出発(5分前までにお越しください)
 ・午前10時……久世酒造店を見学。ビデオや楽しいお酒のお話しをお聞きます。
 ※試飲(漬け物、酒粕焼き)・もちろん銘酒の購入もできます。
 ・正午……料理旅館「勝崎館」(懐石料理とお酒飲み放題)
 ・午後3時ごろ……金沢駅西口着・解散
 ※交通事情などにより、時間がずれる場合がありますので、ご了承ください。

(株)久世酒造店&料理旅館「勝崎館」

30人(先着順です) ※毎回好評のため、お早めにお申し込みください。

お一人1万円(昼食・飲み物代、バス代、保険料として当日集めます)

会員、家族、スタッフの方々

案内チラシ裏面の申込書に必要事項をご記入の上、1月21日(月)までに、お申し込みください。

※ただし、締切前でも定員に達し次第、締め切らせていただきます。
 ※締切までに10人に達しない場合は、中止させていただきます。

主催 石川県保険医協会

電話：076(222)5373 / FAX：076(231)5156

——詳しくは案内チラシをご覧ください——

《チャリティー金について》

当ゴルフ大会で集まりましたチャリティー金は、保団連の災害対策担当部署に届けます。

サタデナイトセミナー

細菌数測定装置の勉強会

1分で分かる口腔内細菌数

理事 小島 登(内灘町・歯科)



サタデナイトセミナーとして開かれた細菌数測定装置の勉強会
講師はパナソニックヘルスケア(株)の桜庭理浩氏(右)



細菌数測定装置(細菌カウンター)

十月十三日(土)午後七時から九時まで、金沢都ホテルで、パナソニックヘルスケア(細菌カウンター)の勉強会を開催した。会場には、関心があり熱意ある歯科医師、会員医療機関のスタッフ二十人ほどが参加していた。

まず、装置の原理(DEP IM測定法)が説明された。細菌が誘電泳動で電極に雪の結晶のように集まっていく様子映像に感動した。それによる電気抵抗値の変化を検体一ミリリットルの細菌濃度に換算していた。また、さまざまな研究機

持論

国民皆保険とそれに基づく保険診療は、医療を支える大きな基盤である。すべての国民の命をいっしょに守る。それが原点だった。しかし、今その原点が揺らいでいる。

平成二十二年度に厚労省が指導・監査により医療機関に求めた返還金額は、約四十三億四千万円に上っている。同年度に実施された個別指導件数は四千六十一件、監査は百五十九件である。このうち、保険医療機関の取り消し二十二件、保険医取り消しが二十件という結果である。

一体誰のための保険診療ルールか?

態から明らかにかけ離れたものである。そこに作為が明らかでない。問題以上、弁解の余地はない。問題は、この二十二件の処分対象医療機関以外である。四十三億を超える返還金の大部分が二十二件以外の医療機関から求めたものである。

制度が患者を守るために本来に機能しているのか? 素朴な疑問が常に頭を離れない。自主返還で最も大きな金額は、主に指導管理にかかわる点数である。例えば、月に二回寝たきり患者の往診に赴き、その

のであることは、その額より明らかである。指導の中で、診療ルールに違反していると指摘し、自主返還という名目で返還金を求める、このルール違反が果たして不正・不当請求と言え

患者の診療に当たる。主要な在宅点数は、在宅患者訪問診療料+在宅時医学総合管理料である。それぞれに算定要件があり、「患者家族への説明」「訪問計画の作成」などが求められる。そして、その要件がカルテに記載

されていないと、自主返還が発生する。たとえ、実際に患者家族に説明しているようだが、計画に記載が無いと要件を満たさない。そうした不注意を不当請求と糾弾し、往診に要した多くの人的労力や技術料を認めない。それが正義だろうか? そんなことが在宅医療をより充実したものとするのだろうか?

もっと大きな問題がある。こうした指導管理料の算定要件に現場の意見がまったく反映されていない。診療報酬改定と共に、厚生官僚により毎回多くの管理料に一方的に算定要件が追加されていく。ルールは、オープンに議論されてこそ生きてくる。医療の現実を反映しないルールは、一体誰のためのものなのか?

囲碁解答

黒1、3が大切な手順。白4は黒5でタメツマリになり、白死です。黒1で先に3は白1黒1白1で殺せません。また黒3で5は白3で殺せません。

(問題は8面にあります)

将棋解答

▲2一銀△1一玉▲1二銀成△同玉▲1一金△同玉▲2一竜まで7手詰。
(解説) 初手▲2一歩成は△3二角▲2二金△同馬▲同△1一三玉で届きません。▲2一銀から▲1二銀成と捨てて5手目▲1一金が決め手です。
(問題は8面にあります)

「数独」の解答

9+6で答えは「15」
(問題8面)

6	5	8	4	7	9	3	2	1
7	9	3	1	5	2	6	4	8
1	2	4	8	6	3	9	5	7
2	1	6	7	4	8	5	3	9
8	4	9	5	3	6	7	1	2
5	3	7	2	9	1	8	6	4
4	6	2	9	8	5	1	7	3
9	7	5	3	1	4	2	8	6
3	8	1	6	2	7	4	9	5

『歯科保険診療便覧』

2012年度点数改定版 発行のお知らせ

診療報酬をめぐる複雑な制度体系の理解のために
歯科診療報酬関連の告示・通知そのものを、わかりやすく分類・整理した、通称「茶本」の最新版。歯科診療所、必携の一冊!

点数表告示・通知に加え、その直下に点数表解釈にあたって必要となる多数の厚労省告示・通知(施設基準、Q&A、レポート記載要領等)を、囲み罫や色分けを駆使して各点数項目ごとにまとめて掲載。「利便性が高い!」と好評の「茶本」—2012年度点数改定版が発行されました。

※石川県保険医協会の歯科会員には1冊無料で送付しました(10/25発送)。
※各都道府県の保険医協会・医会の会員も、会員価格でご購入いただけます。

◆注文方法>>>お申込みは石川県保険医協会まで
①「歯科保険診療便覧の注文」と記入の上、②所属協会・医会名、③注冊数、④医療機関名、⑤送付先住所および電話番号をご記入の上、FAX、電子メール、または電話でご注文ください。

石川県保険医協会
電話 076-222-5373 FAX 076-231-5156 Eメール/ishikawa-hok@doc-net.or.jp

歯科保険診療便覧

2012年度 点数改定版

2012年10月発行

石川県保険医協会

- A4判・406頁 オールカラー
- 発行所/石川県保険医協会
- 定価/8,000円(税、送料込)
- 会員価格/4,000円(税、送料込)

服部真理事の

(金沢市・産業医療科)



第25回

化学物質による業務上疾病

大阪の印刷工場で胆管がんの集団発症事件が発生し、「化学物質の慢性曝露による業務上死亡多発事件は日本では過去のこと、現在はアジア諸国で問題となっている」と認識していた厚生労働省や労働安全衛生の関係者に大きな衝撃を与えました。

事件の概要

二〇一二年五月の日本産業衛生学会で、産業医科大学の熊谷信二准教授が「大阪市内の印刷工場に一年以上勤務していた元従業員約三十人のうち、少なくとも男性五人が胆管がんを発症、うち四人が死亡していた」と報告したことが発端です。その後の調査で、同社(SANYO-CYP社)の作業場が換気不十分な地下に移った一九九一年から、発症の原因と疑われる有機溶剤1、2ジクロロプロパンとジクロロメタン(DCM)を使っていた二〇〇六年までに、校正印刷部門で一年以上働いた男性六十二人のうち六人が胆管がんが死亡していました。胆管がん死亡率は日本人男性平均の約二千九百倍で、発症年齢が二十歳代から四十歳代と若い点も特殊でした。

二〇一二年六月に(独)労働安全衛生総合研究所が実施したSANYO-CYP社校正作業室模擬実験の結果(図参照)では、排気口から吸気口へ汚染した空気が環流(環流

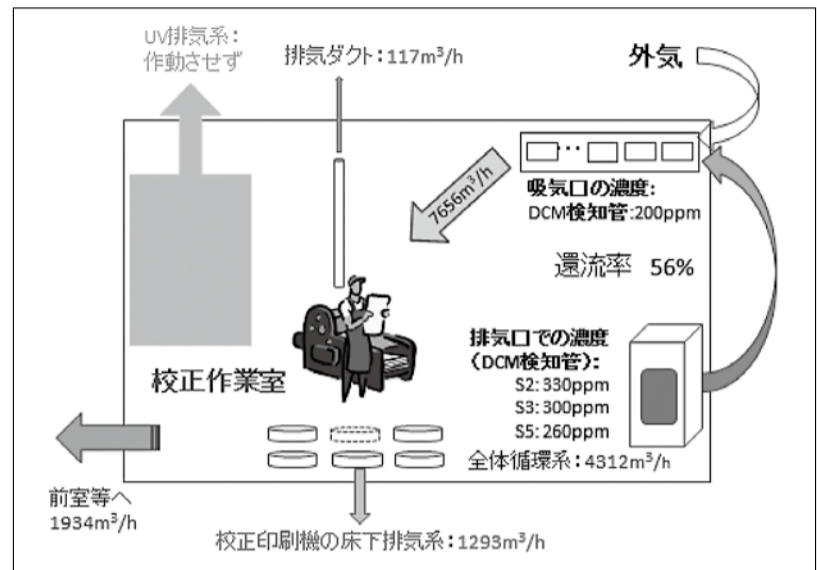


図 (独)労働安全衛生総合研究所が実施したSANYO-CYP社校正作業室模擬実験の結果

全国で四十五人(死亡二十九人)で、四十歳未満九人、四十〜五十九歳二十人、六十歳以上十六人です。一九九七年当時の「1、2ジクロロプロパン」全国出荷量は約九千トンで、二〇〇一年までは五千トンを上回っていました。SANYO-CYP社の発症率は異常ですが、それに留まらず、全国的な問題であることが分かりました。

有害化学物質管理の問題点

1. 法令遵守の不徹底

二〇一二年六月に労働基準監督署の職員が、洗浄作業を行っている印刷事業場五百六十一カ所を点検した結果、関係法令や指針の対象物質を使用していた四百九十四事業場のうち、三百八十三事業場(七七・五%)に何らかの問題が認められました。

主な違反状況は、第一種又は第二種有機溶剤について局所排気装置等が未設置百四十三件、有機溶剤作業主任者未選任百二十件、有機溶剤等の区分の未表示百八十六件、作業環境測定の実施百八十一件、呼吸用保護具の未使用百二十一件であり、作業環境測定を実施した二百一事業場の五百四十三作業場について、第一管理区分(作業環境が良好)は四百二カ所、第二管理区分(改善に努める必要)は九十四カ所、第三管理区分(直ちに改善を講じる義務)は四十七カ所でした。SANYO-CYP社も、衛生管理者や産業医の未選任、環境測定の実施などが分かり、監督署が是正勧告を行いました。

2. 有害性情報の周知遅れ

国際がん研究機関(IARC)は発がん性を、1(認められる、carcinogenic)・2A(おそらくある、probably carcinogenic)・2B(疑われる、possibly carcinogenic)・3(分類できない、not classifiable)・4(おそらくなく、probably not carcinogenic)に分類しています。原因と疑われている1、2ジクロロプロパンとDCMは、現時点では2Bとされています。一九八六年に米環境保護庁(EPA)が動

1, 2-ジクロロプロパン
作成日 2002年3月12日
改訂日 2009年3月30日
絵表示又はシンボル
注意喚起語
危険
危険有害性情報
引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害
皮膚刺激、強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
肝臓、血液、腎臓の障害
眠気及びめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による肝臓、血液系、腎臓の障害
長期又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ

表 厚生労働省「職場のあんぜんサイト」製品安全データシートの抜粋 (http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen/gmsds/78-87-5.html)

物実験を行い、マウスで発がん性が確認されたため(U.S. Environmental Protection Agency: AOPWIN™ v1.91)・米国では製造販売が規制されました。しかし、日本では、一九九九年に「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法、化学物質排出把握管理促進法)が制定され、指定物質の排出量・移動量の届け出と事業者間で譲渡・提供するときMSDS(化学物質安全データシート)の提供が義務化されるまで、危険性情報を周知する仕組みがありませんでした。現在のMSDSは国際調和(GHS、二〇〇三年、国連)に対応し、絵表示などでわかりやすく危険性を知らせることになっています。◇は「危険物」、◇のマークは「引火性」、◇は「健康に有害」を示しています(表参照)。

生かされなかった「2-プロポプロパン(C2PB)」の教訓

一九九五年、韓国のLG電子部品(株)ヤンサン工場(従業員千三百八十六人)のタクトスイッチ部品製造チーム(男子八人、女子二十五人)で、女子十七人(六八%)が卵巣機能低下症、男子六人(七五%)が精子形成機能低下症、七人(男子一人、女子六人)が骨髄機能低下症を発症しました。(五面に続く)

(四面の続き)

この工程(洗浄↓加工↓組立)では以前は洗浄剤としてフロン113を使用していました。一九九四年二月からは2-BPを主成分とするSPG-6ARとSolvent 5200との混合液(日本から輸入)に切り替えられました。局所排気装置が一九九四年十一月二十八日に設置されるまでの約八カ月間、高濃度の2-BPが製造室全体に循環し、保護具(防毒マスク、送気マスク等)も使用していませんでした。

化学染料による職業性膀胱がん多発

一九三八年に米国のHeplerらが2-ナフチルアミンを投与した犬で膀胱がん発生を確認し、一九五四年に英国のCaseらが更に詳細な疫学研究の結果、2-ナフチルアミン(発症率六十一倍)に加え、ベンジジン(十九倍)や1-ナフチルアミン(十六倍)の発がん性を確認しました。この結果を受けて、製造販売を規制する国が増えましたが、日本での規制は一九七一年まで遅れました。

一九七一年までの日本の膀胱がん発症率は製造九社二千九百七十二人中、百十九人(四%)、ベンジジンと1-ナフチルアミン製造作業では一三%でした(石津澄子、<http://ir.twmu.ac.jp/dspace/bitstream/10470/2095/1/430500001.pdf>)。膀胱がんは発症までの潜伏期間が長いため使用中止後も発症は続き、一九九七年の近藤健文らの研究(<http://kaken.nii.ac.jp/dp/09670364>)では、曝露労働者の発症率は八・一%と推定されました。

ヘップサンダル接着剤慢性中毒事件

日本で一九五八年、オードリー・ヘップバーン主演の映画がきっかけとなり流行したヘップサンダルを製造していた内職者たちにベンゼン中毒が多発し、再生不良性貧血で死亡者も出ました。サンダルの裏底を接着するゴムのりにベンゼン(ベンゾール)が含まれていることを知らされず、排気設備も防毒マスクもなく、蒸気を毎日吸い続け発症しました。内職者には労

働基準法が適用されなかったため、治療費が大きな負担となりました。

労働省は翌年ベンゼンを含有するゴムのりの製造、販売、輸入、使用を禁止し、「家内労働に関する行政措置(一九六一年)」、「家内労働法(一九七〇年)」の制定につながりました。

しかし、問題はこれで終わりませんでした。一九六三年に、「ベンゼンを含まない安全な接着剤」として販売されたゴム糊を使用し、換気不良の部屋で作業をしていた十七歳の女性が重症の多発神経炎を発症し、名古屋大学が調査した結果、同様の作業者九十三人に末梢神経炎が発見されました。原因は有機溶剤のノルマルヘキサンでした。

日本の有機溶剤中毒事件の現状

牧祥ら(http://joh.sanri.or.jp/Pdf/153/153_3_03.pdf)によれば、平成七年から十八年までの有機溶剤中毒事例は件数では年平均二十三・五件、被災者数では年平均四十一人、死亡事例は年平均三・一件三・四人であり、対象労働者数十万人当たりの年間発生率は三・三〜五・四、年間死亡率は〇・〇〜〇・八三でした。原因物質はトルエン、キシレン、ジクロロメタン、トリクロロエチレンの順で、これら四溶剤で全体の七六・六%を占めています。

基本的管理とリスクアセスメントで防げた

これらの事件の背景を見ると、本紙十月号で指摘した問題点「(1)法律や規則が多すぎるため守られていない、(2)法律の多くは本質的に不備であり新たな危険源や有害要因に対応できない」がそのまま当てはまります。また、発がん性や有害性の詳細が分からなくても、基本的な有害物質の管理(密封する、排気する、保護具を使う)で予防が可能です。

今後、このような事件を防ぐために、新規化学物質検査体制の充実、MSDSによる国外の知見を含む有害性情報周知と基本的環境・作業管理を進めるための「従業員参加のリスクアセスメント」の徹底(英国のような義務化)が必要です。



診療室から飛び出す歯科医 / シリーズその①

地域の

歯医者になりたい

輪島歯科医師会会長 廣江 雄幸 (輪島市・歯科)

四十七歳での介護支援専門員(ケアマネジャー)の資格取得。それは、必要に迫られた私が出した結果であり、始まりだった。

平成十二年の介護保険事業開始に合わせ、介護事業を行うことになった町野福祉会では、ケアマネジャーの確保が急務となったのである。受験資格があったのは、当時、私一人。絶対合格が課せられた。頑張り甲斐あって、平成十一年十二月に免許証が交付され、介護に携わる第一歩を踏み出すこととなった。

平成十二年四月一日に、介護保険事業開始。ケアプランを立てるため居宅訪問を開始した私は、寝たきりの人たちの口腔内を見て愕然とした。それほど、劣悪な状態だったのである。食べられる口、それを作るための歯科医。そう自負してきたはずなのに、ここに来て初めて、私は口腔ケアを必要としている潜在的な患者さんの存在を知ることになった。医院を訪れる人たちが患者さんだと思っていた私は、彼らの治療だけに専念してしまっていたのである。

食べられる口を作るためには、食形態、食事姿勢、病棟に入ると、老人病棟独特の臭いと、「歯医者者が何しに来た」との看護師の冷たい視線が待っていた。協力的な看護師もいれば、「仕事を増やしてくれるな」と、あからさまに嫌な顔をする看護師もおり、反応はさまざま。理解や歓迎を受けているとは言えない状況であった。

時を同じくして能登NNT研究会に参加した私は、他職種との交流を持ち、色々な講習会に出席して知識を高めた。さらに、病院や介護施設で年二〜三回の講演を行い、口腔ケアの重要性を分かってもらうための努力を続けた。時には、介護施設への押しかけ講演を行うこともあった。

輪島病院での回診を始め、今年で九年目になる。回診に加えて、昨年から常勤衛生士による口腔ケアおよび週一回の能登総合病院の長谷剛志先生によるVE(嚥下内視鏡)が行われ、あの独特の病棟の臭いも少なくなってきた。現在、輪島病院では、入院時に患者に対して衛生士・看護師によるアセスメントが行われている。

このアセスメントにより、歯科治療を必要とする患者を抽出することが可能となった。アセスメント結果を受けた主治医は、診療情報提供書を歯科医に送付し、歯科医は診察結果と今後の方針をフィードバックするという流れが確立。口腔ケアを中心としたケアプランは、ようやく動き始めた。

食べられる口を作ることは、それが歯科医である私の使命だ。これからも口から食えることをいろいろ意識を高めたい。地域の歯科医になりたいと考えている。衛生士である妻の理解と協力がなくては、今の口腔ケアはなかっただろう。日曜、祭日にかかわらず、いつも同行してくれる妻への感謝を述べて結びたい。

第7回石川県社会保障学校

憲法が輝く 社会をめざして

～新たな福祉国家を展望する～

●とき●
11月25日(日) 10:00~16:00

●ところ●
石川県労済会館

●プログラム●
★分科会 10:00~12:00
★全体会 13:00~16:00

※詳しくは保険医協会までお問い合わせください。(TEL 076-222-5373)

ただ今、2013年新年号・原稿募集中!

詳しくは、同封の案内チラシまたはホームページをご覧ください。

これでいいのか!?

社会保障・税一体改革

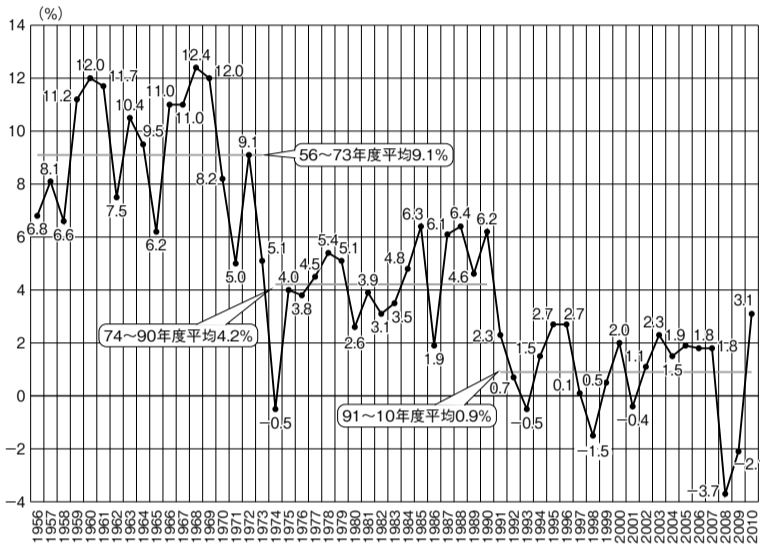
第7回

デフレを招いた1997年の消費税増税

理事 齊藤 典才 (金沢市・外科)

8月10日の参議院本会議で、民主、自民、公明3党などの賛成多数で、「社会保障と税の一体改革関連法案」が可決されました。今、日本の経済成長がそれほど望めない中で、本当に消費税率を上げるべきなのでしょうか？国は消費税の特徴を「景気に左右されにくい」税であるとしています、本当でしょうか？

図1 経済成長率の推移



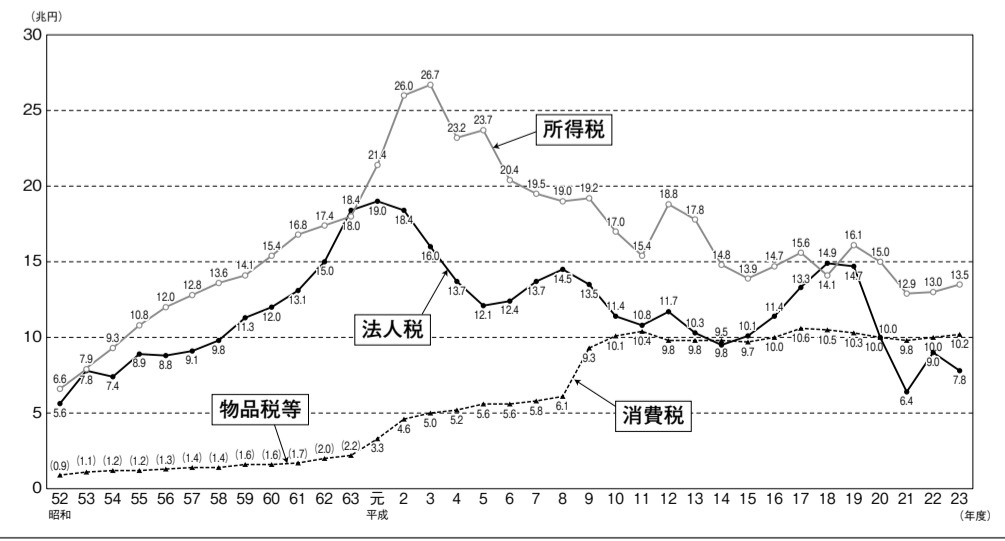
(注) 年度ベース、93SNA連鎖方式推計。平均は各年度数値の単純平均。1980年度以前は「平成12年版国民経済計算年報」(63SNAベース)、1981~94年度は年報(平成21年度確報)による。それ以降は、2011年10~12月期・2次速報(2012年3月8日公表)。(資料)内閣府SNAサイト

これは戦後日本の経済成長率の推移を示すグラフ¹⁾で、ここでいう経済成長率とは実質GDPの増減を指します。この図1からは日本の経済が、高度成長期 = 「56~73年度、経済成長率は平均9.1%」、安定成長期 = 「74~90年、経済成長率の平均は3.8%」、低成長期 = 「91年~2010年、経済成長率の平均は0.9%」の3つの時期を経て、順次経済が悪化してきたことがわかります。

今度は、日本の税収の変化について見てみます。1980年代までの経済成長期には日本の国税は順調に増えたのですが、バブル崩壊後は、平成2年(1990年)の60.1兆円をピークに徐々に下がり始め、平成14年(2002年)は43.3兆円まで減少、小泉政権時代に少し持ち直しますが、リーマンショック後の平成21年(2009年)には38.7兆円にまで低下しました。

図2²⁾は、基幹税である所得税、法人税、消費税の推移を別々に示したものです。

図2 所得税、法人税、消費税の推移



所得税は経済成長とともに順調に増え続け、平成3年(1991年)に26.7兆円とピークを迎えますが、1990年以降経済の悪化とともに大幅に減少し、平成23年(2011年)は13.5兆円と約半分まで減少しました。しかし、減収の原因は景気の悪化だけではなく、税率も大幅に下げてきたことによるのです。ちなみに最高税率については、70% (1986年) → 60% (1987年) → 50% (1989年) → 37% (1999年) → 40% (2007年) となっています。

一方、法人税ですが、昭和54年(1979年)の第2次オイルショック後一時的に減収となっていますが、それ以降は経済成長とともに平成元年(1889年)に19兆円とピークを迎えます。法人税も景気の悪化とともに減収となり、平成21年(2009年)には6.4兆円にまで落ち込みました。しかしこれは、税率を引き下げたことも要因として挙げられます。最高税率の変化ですが、43.3% (1984年) → 42% (1988年) → 40% (1989年) → 37.5% (1990年) → 34.5% (1998年) → 30% (1999年) という具合です。

さて、消費税が導入されたのは1989年竹下内閣の時でしたが、実は1970年代に大蔵省では、石油危機後の赤字国債発行を経験し、欧米の付加価値税の研究を進めていました。その結果、「景気変動に左右されない安定財源」として消費税に期待を寄せるようになったのです。オイルショックにより、日本では法人税や所得税が不況期に極端に落ち込むことを経験しましたが、諸外国では消費税が比較的安定していたというのが理由でした。そして消費税導入に際し、サラリーマンの賛同が得られやすいように、国は所得税などの減税額が消費税増税額を上回る「減税超過」型とし、実際に減税額は消費税による増税額を約2兆円も上回っていました。しかし、バブルの時代であったことが追い風となり、不況に至ることはなく「アメとムチ」式に念願の消費税導入に成功したのです。

その後、平成9年(1997年)橋本内閣の時に5%に引き上げられ、消費税収は安定して10兆円前後で推移しているように見えます。しかし、経済成長率の推移のグラフを見ると、1998年に-1.5%と大きく落ち込んでおり日本経済が悪化してしまったのですが、税収の面から見ても、97年から98年にかけて消費税収は伸びているものの、所得税と法人税が大きく減収となり、税収全体としては落ち込んでしまったのです。実は、橋本政権はプライマリーバランスをゼロにしようと財政再建を目標としていました。97年度当初予算では、基礎的財政収支を黒字化する予定で、消費税2%増の5兆円と、特別減税廃止による税収増2兆円を併せて、合計7兆円の税収増を見込んでいました。しかし国民は、医療費の本人負担増(2兆円)分と合わせて「9兆円の負担増」に見舞われ、当時の大蔵省幹部は「7兆円の負担増は覚悟していたが、9兆円と聞いて驚いた」と振り返り、国は負担増の影響を読み誤っていたようです³⁾。また、98年7月の「経済白書」では、「(租税負担の)影響は予想した以上に大きく現れた」とまとめています。2001年春の自民党総裁選の候補者討論会で、橋本氏は「財政再建を急いだことが、結果として今の不況の一因となっている。誠に申し訳ない」と発言しました⁴⁾。また、吉川洋東京大学教授も、「97年の景気失速は、財政政策の逆噴射など、政策上の失敗という人災が招いた」と分析しています⁵⁾。

近年に目を移すと、平成20年~平成21年の法人税と所得税の急激な落ち込みは、リーマンショックをはじめとする世界経済の不況に起因していますが、消費税は若干の落ち込みに留まっています。その意味から、財界や官僚は「消費税は景気に左右されにくい」と言いますが、実際は、所得税と法人税が大幅に落ち込んでいることから税収全体が減っており、日本経済は悪化の一途をたどるのです。以前のような経済成長率が見込めないわが国の現状で、消費税を10%に上げるとどうなるでしょうか。橋本首相の秘書を務めていた江田憲司氏は、以下のように述べています⁶⁾。「ノーベル経済学賞受賞者のポール・クルーグマン教授は、『デフレ下で景気の回復よりも財政赤字の解消を優先すれば、デフレを加速するだけ』と説明しており、景気の悪い時に増税すれば景気は更に悪化し税収は落ちる、これが歴史の真実であり、学ぶべき教訓である。」

参考資料

- 1) 内閣府 SNA サイト: <http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/4400.html>
- 2) 財務省ホームページ: 主要税目(一般会計分)の推移 http://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/condition/011.htm
- 3) 小此木潔: 消費税をどうするか P75 岩波新書 2009年
- 4) 同上 P76
- 5) 吉川洋: 転換期の日本経済 岩波新書 1999年
- 6) 江田憲司: 財務省のマインドコントロール P47-48 幻冬舎 2012年

県内病院の 地域医療連携室を訪ねて

第9回 金沢大学附属病院

(金沢市宝町13-1 TEL:076-265-2000(代表))
http://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/

高度先進医療の提供のために かかりつけ医との連携充実を

取材記事 医療福祉部取材班

十月十八日、金沢大学附属病院(以下金大病院)の地域医療連携室を訪ねました。藤村隆地域医療連携室長(がん局所制御学准教授)をはじめ、六人のスタッフに対応していただきました。特長を一言で言えば、医師が基本、入退院の決定をする中で、入退院センターが入院に対する事務的な対応を行い、連携室の看護師長とMSWが退院調整を行っているということ。また、特定機能病院として、高度先進医療を提供するという使命もついている中で、かかりつけ医とのより実効的な連携を構築しようとしています。

金大病院は八百三十八床で、三十一の診療科(消化器内科・胃腸外科など)と三十三の部とセンター(検査部・地域医療連携室・救命センター・がん高度先進治療センターなど)からなります。平成二十三年度の平均在院日数は十七・五日、紹介率六八・七%、逆紹介率四一・二%です。

地域医療連携室のスタッフは、室長以下九人です。実務は、看護師長(兼任)とMSW四人、事務二人が行っています。「たまひめネット」という、継続診療システムを十一月に稼働させます。処方内容、検体検査結果、注射、画像及びバイタルチャートの各データを連携する医療機関とインターネット上で共有するというシステムです。電子カルテそのものの共有ではなく、データが参照できる仕組み

です。実際に稼働して、有用性の検証が進むことが期待されます。緊急入院は、基本的には依頼先の診療科の医師と連絡して、ベッドとの関係なども踏まえ、その医師が決定する仕組みです。空床があれば、原則として受け入れていきます。月平均一千人の入院があり、入退院センターで事務手続き、名札やリストバンドの作成などを行っています。緊急入院でも時間内であれば家族が入院センターを通して家族が入院とスムーズに運ぶのとこのことでした。

金大病院は、がん診療連携拠点病院になっており、五大がん(肺・乳腺・大腸・胃・肝)については、マイカルテを作成し、かかりつけ医と役割分担がスムーズに運ぶような仕組みを作っています。が、退院支援を行う中、腎臓・気管切開・胃瘻など管理に一定の医療



地域医療連携室長の藤村隆がん局所制御学准教授(写真右から4番目)をはじめ6人のスタッフに対応いただいた

「たまひめネット」という、継続診療システムを十一月に稼働させます。処方内容、検体検査結果、注射、画像及びバイタルチャートの各データを連携する医療機関とインターネット上で共有するというシステムです。電子カルテそのものの共有ではなく、データが参照できる仕組み



広く街のような雰囲気のエントランスホール



地域医療連携室の方々に病院内を案内いただいた



エントランス奥にはカフェもあり、ゆったりとくつろげる



地域医療連携パス

かかりつけ医の全人的医療がより必要になってくることを強調されました。二人主治医制度という言葉も出ましたが、今後、金大病院の機能をより効率的に運用するために、かかりつけ医との連携の質を高める必要があると思います。



エントランス右側にある受付



予約専用の受付



地域医療連携室



旧建物を解体し、駐車場の整備など、現在も工事が続く

技術が必要な患者さんを紹介するにあたって、紹介先の具体的な情報に乏しいことが課題になっています。かかりつけ医との連携強化のために顔や専門性が分かる関係づくりが必要だと思われました。さらに耳鼻咽喉科や婦人科の悪性腫瘍患者のかかりつけ医への紹介は受け皿がきわめて少ないとのことでした。入院後、退院困難事例を早期に把握するために、病棟看護師が年齢・ADL・認知レベルなど九項目からの概要の学習会を開いています。金大病院は、超専門的な高度先進医療を提供するという使命を果たす医療機関で、そういった意味で高度に機能分化しています。しかし、人間は単一疾患というものはむしろまれで(特に高齢者では)高度の機能分化を補完するためには、

会員リレーエッセー ◆158◆

白山診療班

帯刀 裕之 (小松市・内科)

十月二十二日、今日は秋晴れです。空気は澄んで、白山、大日山、鞍掛山、富士写ヶ岳が眺められます。暖かい日で、白山山頂にも雪はありません。白山の女神、くくり姫様、ありがとうございます。昨夜は、白山診療班の夏山診療慰労会があり参加しました。医師、医学生、白山観光協会の方、約四十人の参加で楽しく夏山診療を振り返りました。その一部を紹介します。医師、医学生、関係者、皆無事に活動を終えることができて良かったです。昨年よりも多くの医学生が白山に登ってくれて、室堂の診療所がにぎわいました。医学生たちは、先輩医師の診療活動を見て勉強意欲が増した、白山の大自然の素晴らしさに感動した、など良い感想を述べていました。



白山診療班の夏山診療慰労会に参加 (前列右から4番目が筆者)

大先輩の山口先生は、「私でも登っているのだから、若い医師はもっと登って欲しい」と話されました。その通りです。僕も来年は一泊二日でなく、二泊三日で登りたいと発言しました。来年度も、関係者の団結と協力で、白山登山者の命、健康を守りたいものです。

改善するべき点としては、登山する医師数が少なく、医師不在の日があることです。学生だけでは診療できず、患者さんを前にして戸惑うことがあります。

この文を読んでおられる先生方にお願ひがあります。室堂にいられたらぜひ、診療所に顔を出して下さるようお願いいたします。学生の相談相手になっていただければ幸いです。

原稿募集中

趣味や旅行記、医療・福祉に関してや平和、環境問題についてなど、会員寄稿をお待ちしています。事務局の杉野までご連絡ください。076(222)5373

聞き書き 近江町市場・今昔 その7 江戸時代からのお店

井沢 宏夫 (金沢市・内科)

「近江町市場」に新しくできた「近江町いちば館広場」に、無添加を旗印にした「まつや」と言うパン屋がある。開業四年目とまだ間がないが、そのルーツを辿ると「近江町市場」の誕生に尽くした加賀藩の御用商人・越前屋孫兵衛一族につながっている。



近江町いちば館広場そばの「無添加パンまつや」店主・平松隆さん

十六世紀の昔、前田利家は信長の武将の一人で、各地を転戦し府中(越前・武生)↓七尾↓金沢と居城を変えたが、府中で初めて三万石の小大名となった。尾張からの家来は少なく、新たに家来を募った。以前は武士であったが「下剋上の無常を感じて」武士をやめ、商人となって府中に在住していた片岡一族の兄弟

利家の家来となり、特に戦に際しては兵站、兵糧を調達し御用商人として手腕を發揮し、利家の寵愛を受けた。

天正十一年(一五八三)、利家は金沢へ入城したが、二人の兄弟は出身地にちなみ「越前屋」を名乗った。越前屋は前田家の家紋入り

の鑑札をもらい、城への自由な出入りを認められ、城周辺に邸宅を与えられ、藩の「よろず御用商人」として、鎧兜や刀なども納めていた。

慶長三年(一五九八)秀吉が死去し、戦の危機が訪れると利家はいち早く金沢城の強化を指示し、城の周囲に二本の外濠を計画。東

西二本の堀は数キロに及ぶ。越前屋はその間、大阪で売阪登米(藩米を大阪で売却)の船輸送、両替屋、銀座役(貨幣の量を計る)や町年寄の役職にたびたび就任する。こうして加賀藩の御用商人として幕末まで活躍するが、明治三年、大政奉還と共に前田家は東京へ去り、越前屋もその役割を終える。越前屋も幾筋かの流れとなり、あるものは製

ね、第三回内国勸業博覧会(二八九〇・東京)に出品している。「物売るだけでは創造性がない」と「作ること」に引き札(正)こだわり、チョコレート月に得意先で自家製という徹底したに手拭一本「無添加パン」を製造販売。添えて配るアレルギーの人や妊娠中の女性などに人気を博している。お店に入ると、古い時代の「平松屋の半纏」が表刷りの当時装され、壁に掛かっているの込んだも趣がある。



成三十年で三百周年を迎え

念式典」が挙行された(平成

「近江町市場」を誕生させ

た。昭和四十四年には「近

江町市場開設二百五十年記

成三十年で三百周年を迎え

念式典」が挙行された(平成

成三十年で三百周年を迎え



店内に飾られている「平松屋の半纏」

の込んだも趣がある。

SUDOKU puzzle grid and 数独 (Sudoku) rules and hints.

将棋 (Shogi) puzzle with board diagram and rules.